~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

対面リーディング通信

2017年 10月

2017年10月1日 発行　　第178号（隔月刊）

~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

「対面リーディングの集い」のご案内

日時：11月9日（木曜日）　13時～16時
場所：情報文化センター4階　第1会議室
講師：松本　一寛（まつもと　かずひろ）

今年も集いの時期がやってきました。皆さまのご参加をお待ちしています。

例年同様、講演と交流会の2部構成での開催で、第1部の講演は当センター職員の松本より、録音図書の再生機器についてお伝えする予定です。専用機器のプレクストークやiPadを使って実際の操作を見ていただくほか、いろいろな録音図書の利用方法をご紹介いたします。
また、機器に関することや録音図書の利用などについて質問もお待ちしておりますので、どんどんお寄せください。

第2部の交流会では、普段の対面に関する意見交換ができればと思っております。皆さまのご参加をお待ちしています。

参加予定の方は職員までお知らせ下さい。また、メールでの受付も行っています。
メールアドレスは　book@iccb.jp　です。

なお、ご連絡がなかったかたには、後日お電話での出欠確認をさせていただきます。

今月号の主な内容

対面リーディングの集いのご案内			1
対面リーディングと私	対面リーディングと私	小林　万智子	2
誌上勉強会	複数の読み方がある言葉	木村　謹治	3
寄り道・回り道	菜の花食堂	木村　謹治	6
情報発信	読めそうで読めない漢字 その3	望月　明	7
お知らせ			10

対面リーディングと私

対面リーディングボランティア　小林（こばやし）　万智子（まちこ）

2016年3月の基礎講習会を受講され、同年5月から当館で活動されています。今回はインタビュー形式でお送りします。

【情報文化センターで対面を始めたきっかけは何ですか？】

情報文化センターの音訳ボランティア養成講習会で、ライトハウスの対面朗読の活動を知り、利用者さんと直接接しての活動にも関心があったのが始めたきっかけです。現在は家庭録音での蔵書製作と対面リーディングで活動をしています。

【対面活動の中で困ったことはありますか?】

対面は資料の途中から読むことが多く、特に人名などはルビがなくて読み方に困ったことがありました。わからない場合は利用者さんにお尋ねしたり、「こう読みます」と断って読みすすめることもありました。引き継ぎ表は使ったことがなく、また前の方が書かれたものを見たこともありません。自分用にメモをとるにも、利用者の方をお待たせして良いものかと困ることがあります。

図表の読み方もまだ慣れていないので、正しく読めているのかわからなくなってしまうことがありました。利用者さんに「わかりますか？」とお尋ねすると「わかります」とおっしゃって頂けたので、確認しながら読んでいます。

【対面活動のなかで楽しかったこと、心に残ったことがあれば教えて下さい】

その日にお持ち頂いた資料を読むだけでなく、その資料から派生した関連の話題を話したりした際、利用者さんから「こんなお話もしたかったんです」と言われたことはうれしく思いました。読むことにひたすら集中することだけでなく、雑談やお話を楽しく思われる利用者の方がいらっしゃることを知りました。

【最後に一言お願いします。】

対面の依頼を頂いてもお断りすることが多いので申し訳なく思っています。これからも月に一度は活動したいと考えています。

★職員より

今回お話を伺った小林さんの「困ったこと」は、経験されたことがある方もいらっしゃるのではないでしょうか。対面室にある引き継ぎ表は、使ったことがない方も多いようです。

「私はこうしました」や「こうしたらどうでしょう」など、悩みを解決するための一言も、お寄せ頂けると助かります。小林さん、ありがとうございました！

木村（きむら） 謹治（きんじ）

対面リーディングの実際 ２３

― 複数の読み方がある言葉 ―

『豊洲市場（東京都江東区）で、主な建物の下に土壌汚染対策の盛り土がされていなかった問題で、経緯を調べていた都が、計画を変更した責任者を特定しない形で報告書をまとめたことがわかった。』

豊洲市場への移転問題は新聞やテレビを賑わせていますね。食の安全や、築地市場の老朽化などあり、深刻な問題です。

さて、上の記事の『盛り土』は何と読みますか？　「もりつち」それとも「もりど」？

辞書を引くと「もりつち」しか出てきません。

では、送り仮名のない『盛土』ではどうでしょうか。「もりつち」の解説では「相対的に低い在来地盤上に、土砂などを盛り上げる作業、あるいは盛り上げた土構造物そのものをいいます。『不動産関連用語集』」

一方「もりど」では「土を盛り上げて高台や斜面を作ること。『庭園・植栽用語辞典』」、「人為的に盛った土。切土(きりど）の対義語。『考古学実用語辞典』」など、「もりど」の方を説明する辞書が多いです。

ただ、多いか少ないかは、正しいか・正しくないか、一般的か・一般的ではないかの基準にはなりません。

話は変わりますが、人は眼で本を読んでいる時でも無意識に頭の中で文字を声に変換し、音声化しているそうです。　皆様の頭の中の声は何と読み上げていますか？

2016年10月1日付けの朝日新聞デジタル版に元首相の小泉純一郎さんからも質問が寄せられいます。東京・豊洲市場で問題になっている「盛り土」の読みは、「もりつち」なのか「もりど」なのか。面白いので、転載します。

小泉さんは辞書を引いたそうですが、「『もりつち』しか載っていなかったんだよ。なんで『もりど』っていうのか、不思議でしょうがない」。確かに広辞苑には「もりつち」しか載っていません。小池百合子・東京都知事も記者会見などで、時に「もりつち」と読んだこともありました。

大手ゼネコンの広報担当者に聞きました。「私たち建設業界では、造成工事で山の土を崩して平らにならすことを、『切り盛りする』と言うんです。そこから、切（き）り土（ど）、盛（も）り土（ど）、とも言います。一種の専門用語というか、業界用語です。正しい日本語ではないかもしれないですが……」とのことでした。

いくつかの辞書や土木関係の用語集には「もりど」という読み方も併記されており、「もりど」は間違いではなさそうです。では、なぜ「もりど」と聞くと、違和感を持つ場合があるのでしょうか。国語学者の金田一秀穂さんに聞きました。

「普通は音読みか訓読み、どちらかを重ねて読むんです」。たとえば「携帯（けいたい）」は音音読み、「盛（も）り土（つち）」だったら訓訓読みとなります。例外が「重箱（じゅうばこ）」のような音訓読みや「湯桶（ゆとう）」のような訓音読み

です。これらは「特別な言い方」だそうです。「盛（も）り土（ど）」も訓音読みになります。

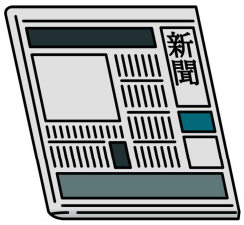
金田一さんによれば「一般用語を使わず、仲間うちだけに通じる特別な言い方をして仲間意識を高めたり、権威やヒエラルキーを示したりすることがあるんですが、これもその一種ではないでしょうか」。

そういえば、自治体関係者は「首長（しゅちょう）」を「くびちょう」と読むことがありますね。

だそうです。

新聞を読んでいる時、「もりつち・もりど」のどちらで読んでいたのか思い出せません。一つは僕自身が漢字を見ていることが大きいのではないでしょうか。

「盛り土・盛土」という文字を見ると、仮に読めなくても、何となく「盛りあげた土」と想像されます。



それにこのニュースは何度も話題になった事柄なのですぐに理解できます。

ではテレビでは何と発音していたのでしょうか。実は思い返しても思い出せません。「もりつち」でも「もりど」でも通じるので、その言葉は耳に留まらず、今起きている内容の方に興味をそそられていたからではないかと思います。この原稿を書く直前に「もりど」と放送していたのが気になり調べてみました。

では、漢字を見ていない対面リーディングの利用者はどう感じるのでしょうか。

その調査はしていないのでわかりません。対面リーディングの休憩時の雑談の中で聞かれるのも勉強になります。もちろん「盛り土・盛土」に限らず漢字全般ですが、その結果は教えて下さいね。

「もりど」は業界用語で「もりつち」が一般的な使い方ということですが、これだけニュースで広く使われるようになった言葉はどれが正解で、どれが不正解と言うことは出来ません。

さて『礼拝』という熟語があります。何と読みますか？

「れいはい」「らいはい」？　どちらでも良いのではと言う声が聞こえてきます。意味合いは「おがむこと。礼をすること。」ですが、対象が違ってきます。「れいはい」は主にキリスト教で使われ、「らいはい」は仏教で使われます。

これも、この違いを知っている人は少ないと思います。仏教関係の図書を読んでいて、「れいはい」と読んでも読みが間違っていると感じる人は少数ではないでしょうか。

最近は猫を飼う人が犬を飼う人より上回ったと聞いていますが、それでも犬はペットの代表的な存在です。

さて日本犬（にほんけん／にほんいぬ：さすがににっぽんけん／いぬと読む人はいません）ですが秋田犬・甲斐犬・紀州犬・土佐犬は何と読むのでしょうか？　辞書的には「あきたいぬ・かいいぬ・きしゅういぬ・とさいぬ」と読みます。

人によっては「あきたけん・きしゅうけん・とさけん」と読む方がシックリ感じるのではないでしょうか。甲斐犬だけは知名度が低いので、どちらで読んでも分かりにくいかもしれません。

テレビで有名になった「わさお」は秋田犬です。ニュースでは「あきたけん」「あきたいぬ」、どちらを発音していたのでしょうね。正式名称だから、昔はこう読んでいたからだけでは通じない時代になってきました。

「茶道」は完全に「さどう」が市民権を得ています。ＮＨＫ放送文化研究所の説明を転載しましょう。

古くはチャドー、現在ではサドーが一般的だと言われています。『日本国語大辞典』によると、江戸時代まではサドーというのはまれで、茶頭（サドー）との混合を避けるためにチャドーというのが普通だったようです。今でも、茶釜、茶器、茶室、茶道具、茶の湯、茶会などの茶道関係のことば

は、すべてチャです。したがって、「茶道」をサドーと読むのはむしろ例外的です。

茶道関係の専門書によれば、サドーをよしとする説では、これが禅院茶湯の伝統的な言い方である、という記述もあります。かつてキッチャテンとも言われた「喫茶店」が現在キッサテンにほぼ統一されたように、「茶道」もしだいにサドーに変化してきたことが推測されます。

ちなみに、図書館学での件名目録は「ちゃどう」となっています。

今では「ちゃどう」と読めば漢字の読めない人と思われるかもしれないですね。

同じ発音で、同じジャンルの言葉を表している時に区分けをつけるために読み替えている漢字があります。市立・私立はどちらも「しりつ」と発音します。「市」なのか「私」なのかの区別を表すために「いちりつ」と「わたくしりつ」に読み替えています。

同じように経常利益を計上利益と間違えないように「けいつね」などと言ったりします。ここまでは納得できる範囲ですが、「種類」と「酒類」を区別するために、種類の方は発音を「たねるい」と訓読しているそうです。ここまで来ると、意味が通じませんね。

「化学」と「科学」も紛らわしいので、「化学」の方を「ばけがく」と言ったりすることもあります。

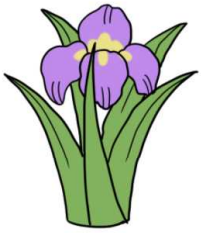
首長（くびちょう）も発音が市長と発音が似通っているので区別つけるためともいわれます。日本語には同音異義語が多いので、このように似た発音の言葉を区別するために、熟語を変則的に発音することがあります。首相（しゅしょう）とは紛らわしくないのでしょうかね。

また「しゅちょう」と読むとアラブ首長国連邦など「イスラム圏の族長」の意味があるので、区別するため「くびちょう」を用いるとの説もあります。

面白い事に「今日」を「きょう」と「こんにち」では意味合いが違ってきますが、「昨日（きのう/さくじつ）」では意味が同じです。

最後に、菖蒲はどう読みますか？

「あやめ」「しょうぶ」？



葉っぱは似ているが、実はぜんぜん違うものです。それに杜若（かきつばた）が加わると更にややこしくなります。

「あやめ」と「かきつばた」は共にアヤメ科アヤメ属の植物で、「いずれ菖蒲か杜若」という諺もあるように見た目も似ています。

「しょうぶ」はサトイモ科だそうです。多くの人は「しょうぶ」と言えば「花菖蒲」を連想されると思いますが、「しょうぶ」は「あやめ・かきつばた・はなしょうぶ」とは見た目が全く違う花です。「はなしょうぶ」はアヤメ科アヤメ属で「あやめ」とは物凄く近いらしいです。

『短歌用語辞典』（窪田空穂（うつぼ）・尾山篤二郎（おやまとくじろう）創拓社（そうたくしゃ））には、『俗謡にも「アヤメ、シャウブやカキツバタ」と分類しているが、古くはこれらの三種はアヤメという同一名に総括されていたようである。すなわち、文目草（あやめぐさ）で、その花の色の美しく、また花蓋（かがい）に文様（網状脈（もうじょうみゃく））を有するところから来た名である。容花（かおばな）ともいった。』と書かれています。

分かったようで分からない説明ですね。短絡的にいえば「あやめ・かきつばた・はなしょうぶ」は植物学的に近くて、「しょうぶ」は別物と言えるのでしょうか。

ここまで、説明を聞いて読みを「あやめ」にしても「しょうぶ」にしても、その差違を知っている人は少ないと言えるのではないでしょうか？　聞き手も読み手も知らないので、どちらの読みでもいいのではと言う意見も出てくるでしょうね。

「正しく読むとは」ーー 難しい命題ですね。今後も色々な例題で考えていきます。

寄り道・回り道

レポーター：木村（きむら） 謹治（きんじ）

菜の花食堂

【所在地】　大阪市北区茶屋町1-45 OIT 梅田タワー 21F
【電話番号】　06-6147-7262
【行き方】　阪急梅田駅から173m　／　JR 大阪駅から570m
【営業時間】　朝食提供時間 8:00～10:00 ／ 昼食提供時間 10:45～14:30
【定休日】　12月30日～1月4日　および不定休
【URL】　－

今回は学食です。懐かしい響きですね。学食といえば大学。情文の近くに大学があるのという疑問にも突き当たります。が、梅田近辺には大学がひしめき合っています。今回はその一つ、2017年４月にオープンした大阪工業大学梅田キャンパス21階の「菜の花食堂」を訪ねました。綺麗、美味しい、ゆったりしていると、昔のイメージとは様変わりです。学食恐るべし。

ここは地上21階、地下２階の大きなビルです。食堂は地域の人々と学生の交流の場として利用してもらうというコンセプトで一般の人にも開放しています。正面の総合受付左手に大学エントランスと一般利用のエレベーターがあり、最上階の21階まで昇ります。

中に入って突き当りの券売機で食券を購入します。なんと朝食300円、昼食は600円です。学生ならば200円と400円。

ランチタイムのメインは、和食・洋食を中心とした15種類以上の料理をビュッフェ形式で楽しめるワンプレートランチ。券売機近くのカウンターに今日のメニューが展示されています。

トレイを持っておかずを盛っていきます。盛り放題ですが、おかわり自由ではありませんので要注意です。おなかがすいていれば、最初からがっちり盛りましょう。御飯とみそ汁は１人１個までです。それに、メインのおかずはＡかＢのどちらか一つとなります。

テラス席も広々と取ってあるので、出来ればこちらで食べる事をお勧めします。最上階とあって眺めは抜群。梅田を代表するランドマークでもあるHEP　FIVEの真っ赤な観覧車も遙か下に見え、梅田中心部の眺望を堪能する事ができます。食べに行った日は、青空が広がり、空気も澄んでいたので生駒から、金剛の山並みまで見渡すことができました。

開放的な展望席で景色を見ながら食べるご飯は、一段と美味しさが増します。

チキンカツ・からあげ・肉団子の甘酢あんかけ・玉子焼き・マカロニサラダ・サラダ・ハムなどが、定番ではないですが大抵あるそうです。

カレーもあり、ご飯の上に遠慮なく、たっぷりかけて食べるカレーライスは何ともいえない美味。

夜はリストランテ翔（しょう）２１として営業しているそうです。コース料理は4000円から。

「菜の花食堂」の名称は茶屋町周辺が江戸時代から明治時代にかけて菜の花の名所だったことに由来しているそうです。

ヤンマー本社ビルの裏手になります。

読めそうで読めない漢字 その3

対面リーディング・ボランティア　望月（もちづき）　明（あきら）

以下の内容は、2017年６月号、８月号に掲載しました、加納喜光著「読めそうで読めない漢字2000」からの抜粋・要約した記事の続き（その３　最終回）です。

■木・野菜・草花の名

・**‘山茶花’は、なぜ「さんさか」ではなく「ざざんか」なのか？**
元の読みは「さんさか」であったが、あわて者が「ざざんか」と読んだため、いつの間にか「さざんか」が定着したとのこと。

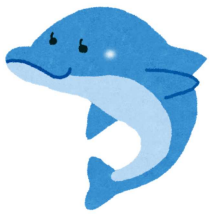
・**木の名**
欅　けやき、**橡・椚**　くぬぎ、**楢**　なら、
樅　もみ、**合歓**　ねむ、**辛夷**　こぶし、
梔子　くちなし、**棕櫚**　しゅろ、
馬酔木　あせび・あしび

・**野菜の名**
糸瓜　へちま、**浅葱**　あさつき、
山葵　わさび、**蕗の薹**　ふきのとう、
大蒜　にんにく、**水松・海松**　みる、
蕨　わらび、**慈姑**　くわい、**牛蒡**　ごぼう

・**草花の名**
向日葵　ひまわり、**桔梗**　ききょう、
杜若・燕子花　かきつばた、**土筆**　つくし、
芥子　けし、**菖蒲**　しょうぶ・あやめ、
撫子　なでしこ、**女郎花**　おみなえし、
藺草　いぐさ、**薊**　あざみ、**荻**　おぎ、
萩　はぎ、**葦・蘆**　あし、**菫**　すみれ、
紫苑　しおん、**蒲公英**　たんぽぽ、
虎杖　いたどり、**金盞花**　きんせんか、
弟切草　おとぎりそう、**万年青**　おもと、
羊歯　しだ、**葉鶏頭**　はげいとう、
吾亦紅　われもこう、**薺**　なずな、
御形　ごぎょう、**仏座**　ほとけのざ、
蘿蔔　すずしろ

■海の動物

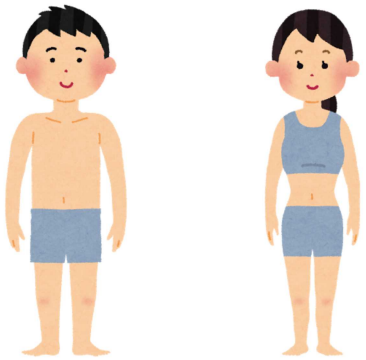
海豚　いるか、**海豹**　あざらし、
海象　せいうち、**海驢**　あしか、
海猟・海獺　らっこ、**海胆**　うに、
海星　ひとで、**海月**　くらげ、**海鞘**　ほや



■ 身体漢字

眉間　みけん、**眼窩**　がんか(眼球の入っているくぼんだ部分)、**鼻梁**　びりょう(鼻すじ)、**耳朶**　じだ(耳たぶ)、**喉仏**　のどぼとけ、**臍下丹田**　せいかたんでん(へその下辺りにある中枢)、**脛毛**　すねげ、**椎間板**　ついかんばん(椎骨と椎骨の間にあ

る軟骨)、**鼻中隔**　びちゅうかく(鼻の穴の中央にある骨板)、**会陰**　えいん(性器と肛門の中間の部分)、**睫**　まつげ
項　うなじ、**踝**　くるぶし、**鬢**　びん(頭の左右側面の髪)、**鳩尾**　みぞおち、
胞衣　えな(胎児を包んだ膜と胎盤)



■「しょっちゅう」を漢字で書くと……

以下の言葉は、日頃かな書きすることが多くて、漢字で書けることに気が付かないことがある。
「初中後（しょちゅうご)」が下略化され、さらに促音化されて「しょっちゅう」となったとのこと。「初中後」は辞書に載っています。

- 「**卍**」⇒**まんじ**。功徳円満の意。
- 「**歴とした**」⇒**れっき**とした。歴然の歴で「はっきりしている」という意味。
- 「**陸でなし・碌でなし**」⇒**ろく**でなし。役に立たない者。
- 「**埒が明かない**」⇒**らち**があかない。物事の区切り。
- 「**勿体無い**」⇒**もったいない**。
- 「**咄嗟に**」⇒**とっさ**に。わずかな時間。
- 「**猥褻**」⇒**わいせつ**。
- 「**贔屓**」⇒**ひいき**。
- 「**鬱陶しい**」⇒**うっとう**しい。見るからにうっとうしい漢字！
- 「**顰蹙**を買う」⇒**ひんしゅく**をかう。
- 「**竹箆返し**」⇒**しっぺがえし**。すぐさま仕返しをする。
- 「**矍鑠**たる」⇒**かくしゃく**たる。年を取って元気な様子。
- 「**老頭児**」⇒中国読みで**ロートル**。老人の意。もうろく気味の人をけなす言葉。
- 「**迂闊**」⇒**うかつ**。
- 「**辺鄙**」⇒**へんぴ**。
- 「**剣幕**」⇒**けんまく**。
- 「**変哲**」⇒**へんてつ**。
- 「**団欒**」⇒**だんらん**。
- 「**界隈**」⇒**かいわい**。

■梅肉は「ばいにく」「うめにく」どっち？
（答えは「ばいにく」）

- 「実現の**目途**」　「めど」ではなく、「**もくと**」。「めど」は「目処」。
- 「**共布**」　「ともふ」ではなく、「**ともぎれ**」または「**ともぬの**」
- 「**肩章**」　「かたしょう」ではなく、「**けんしょう**」。制服の肩に付ける記章。
- 「**路肩**」　「**ろかた**」または「**ろけん**」
- 「**緒**に就いた」　「**しょ**」または「**ちょ**」
- 「**両刃**の剣」　「**もろは**」または「**りょうば**」
- 「**歯肉**」　「**しにく**」または「**はにく**」。「はぐき」のこと。
- 「**生薬**」　「**しょうやく**」または「**きぐすり**」
- 「**不審火**」　「**ふしんび**」または「**ふしんか**」
- 「**修羅場**」　「**しゅらば**」または「**しゅらじょう**」
- 「**手榴弾**」　「**てりゅうだん**」または「**しゅりゅうだん**」

■ 北海道、北方四島の地名

歯舞　はぼまい、**色丹**　しこたん、
国後　くなしり、**択捉**　えとろふ、
釧路　くしろ、**稚内**　わっかない、
厚岸　あっけし、**留萌**　るもい、
江刺　えさし、**知床**　しれとこ、
羅臼　らうす、**積丹**　しゃこたん、
襟裳　えりも、**納沙布**　のさっぷ、
奥尻　おくしり、**天売**　てうり

■「祝」の読み－祝辞は‘シュクジ、祝言は‘シュウゲン’

・「席巻」　せっけん、「お節」　おせち、「言質」　げんち、「境内」　けいだい、「磐石」　ばんじゃく、「死装束」　しにしょうぞく、「赤銅色」　しゃくどういろ、「遊行僧」　ゆぎょうそう、「前代未聞」　ぜんだいみもん、「乾坤一擲」　けんこんいってき

■ 次の漢字、正しく読めますか

突破口　とっぱこう、直談判　じかだんぱん、小一時間　こいちじかん、一国一城の主　いっこくいちじょうのあるじ、一物を撫でる　いちもつをなでる、十年一日　じゅうねんいちじつ、順風満帆　じゅんぷうまんぱん、名跡を継ぐ　みょうせきをつぐ

■ お天気ことば

俄雨　にわかあめ、時雨　しぐれ、小糠雨　こぬかあめ、菜種梅雨　なたねつゆ、篠突く雨　しのつくあめ、野分　のわき、白南風　しらはえ、朔風　さくふう（北風）、霤　もや、霙　みぞれ、雪催い　ゆきもよい、東雲　しののめ、副虹　ふくこう（第２の虹）

■これが読めないと週刊誌が読めない－常識二字熟語

・「造詣が深い」　ぞうけい。学問、技芸に深く達している。
・「鼎談」　ていだん。３人で語り合う。
・「劈頭」　へきとう。一番最初。
・「静謐な美」　せいひつ。静かで落ち着いている。
・「驀進」　ばくしん。まっしぐらに進む。
・「畢生の大作」　ひっせいのたいさく。一生涯。
・「嚆矢」　こうし。物事の始まり。
・「忌憚のない感想」　きたん。遠慮する。
・「過去を穿鑿する」　せんさく。究明すること。
・「すべてを壟断した」　ろうだん。利益を独占する。

■ 同じ漢字が複数使われている漢字

轡　くつわ。馬具の１つ。　轟く　とどろく。
轟々　ごうごう。　囁く　ささやく。
蠢く　うごめく。　姦しい　かしましい。
犇く　ひしめく。　赫々　かっかく　赤く輝く。　贔屓　ひいき。　桑　くわ。
磊落　らいらく、小事にこだわらない。
傀儡　かいらい、人の手先になって、その意のままに動く者。蟲　むし。
（以上のほかにもありますが、漢字変換できないので表示出来ません）

■カップルで覚えるしかないカップル漢字－漢字２つが組になって１つのものを表わす－

坩堝　るつぼ。齟齬　そご、食い違い。
髣髴　ほうふつ。邂逅　かいこう、めぐり合う。滂沱　ぼうだ、雨の激しく降るさま。
齷齪　あくせく。慫慂　しょうよう、誘いすすめる。蜥蜴　とかげ。檸檬　れもん。

以上

おしらせ

・「対面リーディング難所物語」の休載について

二村晃さんによる、当通信きっての長期連載の「対面リーディング難所物語」ですが、都合により2017年4月号から休載とさせていただいております。現在の所、再開時期は未定ですが、状況が整い次第に再開したいと考えております。楽しみにお待ちいただいている皆様には申し訳ございませんが、今しばらくお待ちください。

・「盲導犬チャリティーカレンダー」2018年版発売中

日本ライトハウス盲導犬訓練所では、毎年ご好評を頂いております「盲導犬チャリティーカレンダー」を今年も発売しています。大きさは見開きA3サイズで、月めくりの壁掛けタイプです。ほのぼのとしたラブラドールのイラストが満載で価格は１部1000円です。チャリティーカレンダーの売上金は、すべて盲導犬育成費に充てられます。ご希望の方は当館3階の総務係でお求めください。

また、郵送をご希望の方は盲導犬訓練所（電話0721-72-0914）までご連絡をお願い致します。送料は３部まで100円、４部以上は500円です。

・10月19日(木)、20日（金）は対面リーディングを休止します

10月19日(木)と20日(金)は当館の主管で全視情協大会を開催するため、点字・録音製作係、会議室を休室させていただきます。当日はサービスを縮小して行うため、対面リーディングも休止とさせていただきます。

（「全視情協」は全国視覚障害者情報提供施設協会の略称です。）

・「引き継ぎ表」をご利用ください

今号の「対面リーディングと私」でも触れていますが、各部屋に「引き継ぎ表」を置いてあります。1冊の図書を続けて読まれているときなど、漢字の読み方や利用者さんのご希望などを記録していただくことにより、次に担当する方に情報が伝わります（例：図表は省略して本文の読みのみを希望、など)。ぜひご利用ください。

また、何か気になることがありましたら、対面時にお渡ししている記録用紙の備考欄にご記入ください。

中之島にある国立国際美術館で開催中の「バベルの塔」展を見に行ってきました。思いのほか小さい絵ながら、緻密な描写でさすがの迫力でした。開催期間は残り僅かですが、おすすめです。(F)

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6136-7704（対面専用）
06-6441-0039（サービス部）